

みやづ

市議会だより

第110号
2023
2.6



令和4年12月定例会

12月補正予算

一般質問

13人の議員が市政を問う

p.4~5

p.6~12

〈特集〉議員が
おじゃましました！

ボランティア団体「さくらの会」

p.13

市民と議会の懇談会

11会場で開催

p.14~15

宮津おどり振興会

P16 参照

12月定例会のうごき

令和4年12月定例会は、11月30日から12月23日までの24日間開催し、補正予算、条例改正など15議案と追加提案の1議案を審査し、うち1件（宮津市個人情報保護法施行条例の制定について）は修正可決となりましたが、その他の議案はいずれも原案のとおり可決、同意しました。

また、議員提案の「宮津市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について」を全員賛成で可決しました。

一般質問は、12月7日、8日に13人の議員が行いました。今定例会の傍聴者は46人（9月定例会は49人）でした。



産業建設福祉委員会

財産の無償譲渡

金引の滝公衆便所を滝馬自治会に無償譲渡するもの。

Q 譲渡した後、改修する必要がある場合に、市が改修に対する補助をするのか。また、その予算措置は？

A かなり老朽化しており、観光資源として活用していくためには一定の手直しをして、利用者のニーズに添えていく必要



金引の滝 公衆便所

A 維持管理に係る費用は、譲渡の条件を自治会と調整する中で、すべて自治会が負担するということで協議を終えている。

Q 光熱水費などの負担はどつなっているのか？

要がある。譲渡して速やかに改修されるものと聞いている。改修支援に係る予算は、8月臨時議会で承認いただいた金引の滝エリアの環境整備予算の中で措置されている。

定例会最終日に、議第86号に対して、修正案が提案されました。

提案説明 (要旨)

議会運営副委員長 星野 和彦
議員提案する宮津市議会の個人情報保護に関する条例中の

「議長の宮津市情報公開・個人情報保護審査会への諮問」について、整合を図るため、同審査会条例の所掌事務に規定される必要があることから、本施行条例附則 第5条に規定する同審査会条例の所掌事務の改正規定を追加するもの。

採決の結果、修正案は賛成多数で可決、修正部分を除く原案も、賛成多数で可決となりました。

市議第3号

議会の個人情報の保護に関する条例の制定

宮津市議会における個人情報の適正な取り扱いを確保するとともに、個人情報に関する権利を明らかにし、個人の権利利益を保護するため、改正法の趣旨も踏まえ、自律的に本条例を制定するもの。

議第86号 宮津市個人情報保護法施行条例の制定について」に対する修正案

原 案	
附則	(宮津市情報公開・個人情報保護審査会条例の一部改正)
第5条	宮津市情報公開・個人情報保護審査会条例(平成14年条例第2号)の一部を次のように改正する。 第2条第1項中「固定資産評価審査委員会」の次に「財産区」を加え、同項第2号及び第3号を次のように改める。 (2) 個人情報の保護に関する法律(平成15年法律第57号。以下「個人情報保護法」という。)第105条第3項の規定により読み替えて準用する同条第1項に規定する審査請求に関する事項 (3) 宮津市個人情報保護法施行条例(令和4年条例第 号)第4条の規定による諮問に関する事項 第2条第1項第4号及び第5号を削る。

修 正 案	
附則	(宮津市情報公開・個人情報保護審査会条例の一部改正)
第5条	宮津市情報公開・個人情報保護審査会条例(平成14年条例第2号)の一部を次のように改正する。 第2条第1項中「固定資産評価審査委員会」の次に「財産区」を加え、同項第2号から第4号までを次のように改める。 (2) 個人情報の保護に関する法律(平成15年法律第57号。以下「個人情報保護法」という。)第105条第3項の規定により読み替えて準用する同条第1項に規定する審査請求に関する事項 (3) 宮津市個人情報保護法施行条例(令和4年条例第 号)第4条の規定による諮問に関する事項 (4) 宮津市議会の個人情報の保護に関する条例(令和4年条例第 号)第45条及び第50条の規定による諮問に関する事項 第2条第1項第5号を削る。

条例関係

議第86号 個人情報保護法施行条例の制定

反対
共産党 小濃 孝之
データの流通・利活用を促進する一方、匿名加工すれば外部提供が可能という仕組みを導入するものであり、個人情報保護の後退と言わざるを得ない。

議第87号 プラスチック等資源循環の促進等に関する条例の制定

賛成
共産党 宇都宮 綾
持続可能な社会の実現には、プラスチックの使用を減らすこと。本条例によるプラゴミが環境中に排出されない取り組みの推進は、環境汚染が現状よりも改善されると考



正
市職員の定年等に関する条例等の一部改正
地方公務員法の改正により、地方公務員の定年が引き上げられること等に伴い、関係条例の所要の改正を行うもの。

プラスチック等資源循環の促進等に関する条例の制定

地球温暖化に起因する気候変動の影響や海洋プラスチック問題等への対応を契機として、プラスチックをはじめとする資源循環の重要性が高まる中、脱炭素社会、循環型社会及び自然共生社会を構築し、将来への良好な環境を引き継いでいくため、制定するもの。

総務文教委員会

市個人情報保護法施行条例の制定

個人情報の保護に関する法律の改正に伴い、同法の施行のための条例を制定するとともに、現行の宮津市個人情報保護条例を廃止するもの。

Q 将来的に事業者へ匿名加工情報を提供していく可能性がでてくるのか。匿名加工にしても方法は色々あり、情報が漏れることを心配する。

A 学術研究や経済活動に活かすためのニーズは高まると予想される。匿名加工情報の提供の必要性は、他市町や社会情勢を見ながら検討していきたい。また、情報管理については技術的な制限、セキュリティポリシーの強化、職員研修を徹底し、情報が漏れることのないように努める。

同意 人事関係

次のとおり人事案件に同意しました。

◆財産区管理委員

○上宮津財産区

- 上杉 晃一氏
- 落合 文彦氏
- 藤田 淳志氏
- 上野 文明氏
- 松岡 宣氏
- 関野 掲司氏
- 中川 昭一氏

○吉津財産区

- 古崎 広文氏

プレミアム付き商品券発行事業 7000万円

Q 物価高騰対策であれば、市民全員が物価高騰に苦しんでいるため、平等な対策にすべきではないか？

A 物価高騰は、多くの市民生活に負担増という影響を与えている。加えて、市内の多くの事業所では、経費負担の上昇による収益の減少や長引くコロナ禍で大きな打撃を受けている。

具体的には、事務費を除く6千万円を投じる場合、仮に全市民に商品券を配布すると1人3千数百円となり、6千万円の消費効果に止まるが、今回1万円に3千円のプレミアムをつけ、1万3千円の商品券を発行することで2億6千万円の消費効果となる。また、市民限定とし2セッ

くらしを守る 継続支援

令和4年度 12月 補正予算

討論

賛成 日本共産党 小濃 孝之
プレミアム付き商品券は低所得者も購入しやすいものにすべきだ。また、マイナカード普及促進とは切り離し公平性の確保を求める。日置診療所は、地元との十分な協議をすることを強く要請する。

賛成 蒼風会 長本 義浩
市民の生活支援と市内の消費喚起拡大は評価するが、スピード感をもって実施いただきたい。また、市民との十分な意見交換のもと、進められることをお願いする。

賛成 無所属クラブ 河原 末彦
物価高対策と府中診療所の患者の受け入れ体制が改善される。診療所の話し合いは、市民目線の説明を求めるものである。地元との合意形成に努め、事業を進めていただきたい。

賛成 公明党 松浦 登美義
安心して出産・子育てできる環境が充実するものである。また、美食のまちづくり推進は、施設の魅力向上と集客力の向上が期待される。

ト目以降を抽選とすることで、希望すれば必ず3千円のプレミアム分は得ることができると、市民生活負担増への支援となる。

Q マイナンバーカードの所持、不所持により、購入可能セット数が異なる理由は？

A 国のマイナンバー事業と考える方は同じである。市としてプレミアム感をつけて、マイナンバーカードの普及促進を図っていくもの。



前回のプレミアム付き商品券

委員会討議

財産管理事業

● 貸出の利用料金は、消耗品などの管理経費や自治会等の利便性のことを十分に勘案され、適切な料金設定にされたい。

● 小型除雪機と同じように無償も含め検討すべき。

診療所整備事業

● 当該診療所との2カ所診療における日置診療所廃止に向けた地元協議は、住民の不安や課題に対し安心して医療が受けられるよう、より丁寧に説明されたい。

● 委員会として、その意見を付すべき。

プレミアム付き商品券発行事業

● マイナンバーカード取得の有無による購入可能セット数の差は、不公平を生じないか懸念が残る。

全員賛成で可決した議案

議案番号	件名	結果	議案番号	件名	結果
79	財産区管理委員の選任	同意	88	R4一般会計補正予算(第7号)	可決
80	財産の無償譲渡	可決	89	R4国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	//
81	京都市府町村職員退職手当組合規約の変更	//	90	R4後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	//
82	市職員の定年等に関する条例等の一部改正	//	91	R4介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	//
83	市長及び副市長の給与に関する条例の一部改正	//	92	R4市水道事業会計補正予算(第2号)	//
84	市一般職職員の給与に関する条例及び市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正	//	93	R4市下水道事業会計補正予算(第3号)	//
85	市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正	//	94	R4一般会計補正予算(第8号)	//
87	市プラスチック等資源循環の促進等に関する条例の制定	//	市議3	市議会の個人情報の保護に関する条例の制定	//
			請願2	「インボイス制度実施中止を求める意見書」を政府に送付することを求める請願書	継続審査

賛否の分かれた議案

議案番号	案件・結果	議員名	会派名													
			蒼風会			無所属クラブ			公明党		共産党団					
86	市個人情報保護法施行条例の制定	修正可決	坂根 栄六	幾世 恭典	徳本 良孝	堀 末季	長本 義浩	横川 秀哉	星野 和彦	河原 末彦	安田 裕美	久保 浩	松浦 登美義	松本 隆	小濃 孝之	宇都宮 綾
動議	市個人情報保護法施行条例の制定(修正案)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

<議第79号は11月30日、その他は12月23日に議決。>

予算委員会

一般会計

令和4年度一般会計補正予算
1億1294万円

財産管理事業(ラジコン草刈り機の購入)
310万円



ラジコン草刈り機

Q 使用する公共施設、維持管理費、自治会等へ貸出時の利用料金などは？

A 主に、つつじが丘団地、ふれあい広場、公営住宅跡地、不燃物処理場、保育所、学校、公園での使用を想定。貸出先

は、自治会や公共的なボランティア団体を想定しており、保険料や消耗品の交換など維持管理費が発生することをお慮し、一定の料金をお願いしたいと考えている。

診療所整備事業(府中診療所の受診環境整備)
500万円

Q 発熱外来患者等対応スペースの整備と駐車場の整備費用が債務負担も含め高額だが、なぜか？

A スペース確保のため、診療所右側の車庫や物置などの撤去・整地整備に500万円。診療所左側の庭の植栽等を撤去し、10台程度置ける駐車場の整備に930万円としている。大きな騒音を伴う工事となり、診察時間外での工事が必要で、工事期間や経費が多

令和4年度補正予算Q&A

Q 府中診療所との2カ所診療における日置診療所の廃止について、地元協議の状況は？

A 公共施設再編方針書で、おおむね5年以内に廃止と整理したのは、老朽化が著しく、安全面等から家主として宮津市がこれ以上使用できないと判断したものの、地元協議では、自治会役員と令和2年3月からこれまで4回意見交換をしている。廃止について了解したと言っていた。今たわけではない。今後も協議を継続し、住民説明会も行っていく。地元の皆さんがこれなら安心して医療を受けられると思っただけのよう丁寧な説明をし、ご理解が得られるように努めていく。



題字／尾崎邑鶴 書

一般質問とは、市政全般にわたり、執行機関に対して事務の執行状況や将来に対する方針などについて所信を質し、あるいは報告、説明を求め又は疑問を問うものです。

答弁者は、下記のとおり略称を使用しています。
企画部長…企画財政部長 市民部長…市民環境部長
福祉部長…健康福祉部長 産業部長…産業経済部長

議会の録画が視聴できます
<https://www.city.miyazu.kyoto.jp/site/gikai/>



一問一答

市長

「ゲノム編集食品」への対応は
会社を評価しているが、
不安解消にも努力



無所属クラブ
河原 末彦

問 遺伝子を加える「遺伝子組み換え」と遺伝子を切り取る「ゲノム編集」とはどかが違うのか。人為的に遺伝子を操作する点は同じではないか。
産業部長 「組み換え」は、異なる生物の遺伝子を組み込むことで新生物を作る技術。「ゲノム編集」は、遺伝子を切断して、自然界でも起こり得る進化を意図的に起こす品種改良技術と認識している。
問 消費者は、一般販売されている「とらふぐ」と「ゲノム編集とらふぐ」を区別できるのか。
産業部長 現在ネットでの販売しか行っていない。食品表示法では、特別な表示義務を課していないが、購入時にサイトでゲノム編集の説明をしている。また、生産・加工履歴が確認できるトレーサビリティを確保した上で販売されている。
問 市は「国が定めた通知に基づき届け出がなされていることから安全」との立場だ。しかし、市民の中には疑問や不安の声がある。どう対処するのか。
市長 日本的にも世界的にも評価の高い企業が宮津市に立地されていることは誇らしい。しかし、市民の中には、不安に思われている人がいることも承知している。不安解消に向けてしっかりと努力していきたい。

問 高校生通学費に補助制度の導入を！
問 近年高校生の遠距離通学が増えてきた。また、JRより割高なKTRを利用し通学費の負担が増していることに鑑み、「通学費に補助制度を」とR3・9月議会で質してきたが、その後の対応を問う。
教育次長 所得制限の見直しや交通機関の脆弱な地域での補助の拡充を府に要望してきた。また、通学費も含めて、タブレットを始め教材・教具、クラブ活動費用等さまざまな経費負担がある。どんな支援が必要なのか模索しているところで、引き続き総合的な子育て支援対策として研究していきたい。

問 まち・ひと・しごと創生人口ビジョン／総合戦略をPDCAで進めてきたが、「P」の「計画」と「C」の「評価」に能力を費やし過ぎて、一番市民に関わるべき「D」の「実施」と「A」の「改善」がおろそかになったのではないか。
今、国で進める、東京圏から地方へ移住し地域企業への就業等をする移住者に支援金を支給する「地方創生移住支援事業」の実施を問う。
地域創生に欠かせないのが地域おこし協力隊の活躍である。協力隊が任期を終えた後、市内に住み続けるために、住まいや就業先の確保など、定住促進を一段

と進める必要があると考えるがどうか。
地域経済を活性化しようとする地域創生活動に対し、「やる気」の後押しや、引き出すための支援策を問う。
市長 第1期まち・ひと・しごと創生総合戦略で数値目標と一体的に運用し、必要に応じて数値目標の見直しを行うなどPDCAをしっかりとまわし、推進する。
東京圏からの移住者に最大百万円の支援金を交付する「地方創生移住支援事業」の導入に向け調整していく。
地域おこし協力隊

活動は、特定分野の募集・活動を行ったが、就業・起業が叶わない、十分な収入が得にくいなどの状況もあり、地域で生業を起す「提案型」、地域の課題解決を生業につなげる「地域課題解決型」へと発展させ安定した定住を進めている。今後とも定住につながるよう受け入れを進める。地域を良くするために地域で活躍できる環境を整えることが非常に大切である。さまざまな形で地域や現場に向き、市民から多様な声を聴き、対話や意見交換を重ねる中で、思いや課題を共有し、市民と一緒に「共創のまちづくり」を進めていく。

問 放課後、子どもの安全確保は重要だ。宮津市放課後児童クラブの状況は。
教育次長 市内4カ所を民間委託し、市居住で共働き家庭等の児童が対象。日置・養老小学校児童は、長期休業中、府中放課後児童クラブを利用できる。いずれも通常の利用は定員数未滿。長期休業の8月は利用が増加。
問 利用できなかった、また支援が必要とされる児童の対応は。
教育次長 年度途中の利用希望等で支援員の確保等ができない場合、待機となる。
問 日置と養老の小学校には、放課後児童クラブの設置がされていないがなぜか。
教育次長 設置を行わ

ない方針。現在の日置地区公民館の見守り事業の充実を図る。
問 基本は学童設置だが、公民館事業の水曜日だけで、子どもの安全は守られるのか。
地域や学校運営協議会とも協議せよ。
教育次長 さまざまな方法がある。地域の皆さんと一緒に放課後の安全安心な居場所づくりに向けて検討する。

問 視覚障害者の災害時の避難
視覚障害者の災害時の避難
福祉部長 要援護者で支援が必要との申し出者には、宮津市災害時たすけあいネットワークに登録後、個別避難計画を策定し、平時より民生委員、自治会、消防団等と情報共有し、災害時の迅速な避難支援につなげる。
問 個別避難計画策定の状況は。
福祉部長 申し出者のみ個別避難計画を策定。1級2級の視覚障害者約50名のうち7名が策定されている。
問 視覚障害者の防災意識向上や地域の危険個所の認知のため音声で示すハザードマップを作製してはどうか。
総務部長 朗読ボランティアを得て、すでに作製に着手している。共通編のハザードマップ音声版は年内に配布を開始する。今後、個別編についても検討する。

括 地方創生の検証と地域創生の推進
市長
市民と一緒に「共創のまちづくり」を進める

公明党
松本 隆

一問一答
教育長
子どもの安全が守られる放課後を
安全な居場所を確保する

日本共産党
宇都宮 綾

空き家バンクの今後の取り組みは

市長 地域と共に移住者・定住者の増加につなげたい



蒼風会 長本 義浩

問宮津市内4地区が以前より移住特区として認定され、移住者受け入れに取り組んでいる。京都府は新たに、令和4年4月から5年間の時限条例として、「京都府移住の促進及び、移住者等の活躍に関する条例」を定め、本市はこの条例のもと、今年度から市内全域での特区申請に向けた取り組みを行っている。空き家利用希望者は、令和3年度末登録数259世帯526人である一方、空き家バンクの登録件数は、3年度末登録24件であり、移住・定住希望者が増える中、空き家バンク登録件数が少ない傾向である。現在、市の空き家の状況は、

定が受けられるよう現在各地域との話し合いを進めている。今後協議を重ね、全域での指定を目指し、指定を契機に、移住者受け入れの機会が高まり、空き家所有者へ活用を声かけていただくなど流動化への取り組みが進むと考える。

問企画部長 空き家の状況は、水道閉栓状況をもとに空家総量調査の実施により令和3年度末約800件の空き家を把握している。外観目視による状況確認等で約半数が利活用可能と思われる。

問空家になる前から所有者が事前に意思表示できる「空家空地活用事前登録制度」の創設、不動産事業者との連携による流動化を促す仕組みの構築など新たな取り組みを検討し、空き家税の研究なども行いながら結果につなげたいと考える。

問今年度から所有者に対する利活用意向調査を毎年実施することとし、今年度314件のうち64件の回答を得た中、8件のバンク登録希望があった。

市長残り4地区の指

国道178号強靱化計画の今後は

建設部長 漁業関係者からヒアリングを実施予定である



無所属クラブ 久保 浩

問国道178号線（長江・波見間）国土強靱化計画の事業化に向け、令和5年度に地元・漁業関係者などへの説明会が予定されると聞く。

工事予定区間外を含めたエリアで、荒天時の越波による道路への砂流入防止策なども期待される。

問建設部長 京都府からは、影響が大きいと危惧される漁業関係者に、まずはヒアリングを実施予定と聞いている。

問丹後地域の生活や産業の骨格をなす道路であり、第2次緊急輸送道路と重要物流道路の代替・補完路に指定された非常に重要な道路である。

問このヒアリング結果と、環境への影響に関する調査を基に道路構造を検討した上で、事業計画を作成し、地元説明会を実施する予定と聞いている。

問本市事業が地元へ大きな効果があることは言うまでもない。



国道178号線

一問一答

子育て応援支給を

福祉部長 速やかに実施できるように準備していく



公明党 松浦 登美義

問公明党は、結婚、妊娠・出産から子供が社会に巣立つまで切れ目のない支援策を掲げた「子育て応援トータルプラン」において、子供の幸せ最優先社会を目指し、少子化・人口減少の克服に向けた具体策を示した。①妊娠届出時、②妊娠8ヶ月前後、③出生届出から乳児家庭全戸訪問までの間の面談などの充実による伴走型相談支援と、出産・子育て応援交付金の活用による妊娠届出時（5万円相当）、出生届出時（5万円相当）の経済的支援の一体的実施を。

判断した場合、保健師が家庭相談員と連携し、伴走支援している。パパママ学級の開催や赤ちゃん訪問により妊娠前から産後の相談を実施しており、今後も充実させていく。相談支援と一体的に行う経済的支援は国の補正予算の成立を受け、速やかに実施できるよう準備していく。

問令和元年に、京都府の医療助成が拡充され市負担が軽減、今後も国の支援策の充実で財源が確保できる。これらの財源をもとに子育て支援医療費助成事業の高校生までの拡充を。

問今年度中に概要が示されるので注視していく。

問6月議会で質問したが、再度、学校トイレの洋式化はいつ頃の予定か問う。

問教育次長 今年度、整備年次計画を策定する。来年度から整備する方向で検討する。問来年度予算編成の考え方を問う。

一問一答

バイオマス発電、民意の反映を

産業部長 市民の安心安全に係る懸念を事業者に伝える



日本共産党 小濃 孝之

問須津地区に計画されている木質バイオマス発電事業に係る環境影響調査の進捗状況と今後のスケジュールは。

問京都水道ブランドデザイン改定に向けた素案・中間案が示された。その中で、国分・溝尻浄水場を廃止し、与謝野町の男山浄水場に統合するパターンが示されている。遠隔監視・操作システム整備の対象になっている同浄水場を、廃止を含めた協議の対象にすべきではない。

問水道の広域化・経営統合は慎重に。問建設部長 IOT活用施設整備計画において、国分・溝尻浄水場の計画であり、それまでの間、広域化も含めてあらゆる選択肢を検討していく。

問現在、宮津市は窓口業務などを民間委託している。宮津市は窓口業務などを民間委託している。

問建設部長 将来にわたって地域の水道を守りきるといふ共通の目的のもとで、広域化を含めたあらゆる選択肢について、京都府と市町村が一丸となって進めていかなければならない。

問削減量の算出があり、削減量の算出

問削減量の算出があり、削減量の算出

問削減量の算出があり、削減量の算出

問削減量の算出があり、削減量の算出

「にっこりあ」の更なる充実を

市長 今後の充実にむけ、色々な方法を探っていく



蒼風会 堀 未季

問「にっこりあ」の外部講師や専門の方の講座は大変人気と聞く。専門的なお話しや子どもに良いとされることは、子育てに取り入れたいと思うのではないかと。子どもの発育や心の成長、保護者の気持ちの安心にも、心理士や作業療法士などの視点で、より専門的な体遊びや、相談・支援体制の充実が大切だと考えるが本市の考えは。

答 専門施設の体制を付加していくのは人員・スペース的に困難である。問人員は本市も勧める広域連携で補えるのではないかと。遊びを通じた専門の発育知識や相談機関を知る事例もある。子どもの発達や保護者の悩み、気になる家庭などを「にっこりあ」の利用につなげることも今後の課題と聞いている。こういった課題に対して本市の解決策は。

問北陸新幹線の延伸で、2024年から観光列車が敦賀から城崎温泉までの、小浜線、舞鶴線、京都丹後鉄道線、山陰線を結ぶ運行が予定されている。ルート路線の舞鶴市や京丹后市、京都府の取り組みとの連携について市の考えを問う。

答 停車駅となった場合は、下車いただけよう市内の観光関連事業者と一体となりPRし、おもてなしができるよう努める。市内を周遊するツアーや体験プログラムの充実、食の魅力を伝えるさまざまな取り組みとも連携していく。

問公共施設再編方針書に基づき、地域への譲渡や除却が決定した公衆トイレの、新たな提案があった場合の対応を問う。



無所属クラブ 安田 裕美

一般質問

観光列車運行で地域連携と活性化

市長 新たな人の流れを創出し、地域振興につなげたい



一問一答

深刻化する人材不足への対策を

産業部長 大きな課題である。国・府・市で役割を果たしたい



蒼風会 幾世 恭典

問宮津市の企業の人材不足が深刻化してきている。ここで、人材不足に関わる、今起きている一つの大きな側面を整理する。まず人材不足のために、需要はあるものの、設備や不動産等の経営資源を100%活かせられていない状況である。結果として売り上げの最大化ができていなく、よって利益の最大化も出ていない。問題なのは、給料である。給料が増加する源泉は、企業の利益である。利益も十分上がっていないため、経営者は給料を上げられない。ここが一番重要だが、給料が上げられないから、募集しても人材が集まらない状況

答 以前からこういう傾向であったが、新型コロナウイルスのまん延で人材が流出し、問題が一気に深刻化してきた。企業の人材不足問題は、企業だけの責任ではない。宮津市の人口減少自体にも大きく影響を受ける。移住・定住・Uターンの効果的な対策を切に願うところ。一方で、企業努力により他の地域から人材を確保している企業もある。移住者向けに自前で寮を完備したり、住宅補助等の福利厚生を整えられている。先進地域でされているように、こういった企業努力に対して支援を早急に行うべきだと考えるが、どうか。

一問一答

自転車を活用したまちづくり

産業部長 関係団体などと協議して進めたい



無所属クラブ 星野 和彦

問近年、自転車を活用した通勤や観光が広がっている。以下3点を提案する。①SDGsの観点から市職員と市民の自転車通勤の奨励制度。②スマホを使って電動アシスト自転車を市内全域に展開する民間企業の誘致。③丹鉄が9月に始めた自転車積み込み列車とバス・汽船・タクシー会社との連携。

答 近年、自転車を活用した通勤や観光が広がっている。以下3点を提案する。①SDGsの観点から市職員と市民の自転車通勤の奨励制度。②スマホを使って電動アシスト自転車を市内全域に展開する民間企業の誘致。③丹鉄が9月に始めた自転車積み込み列車とバス・汽船・タクシー会社との連携。

問鳥獣被害対策に関して以下5点を問う。①被害の正確な把握。②侵入防止柵のメンテナンスと補助。③ドローンを使った防止柵内の鳥獣対策。④多発するクマ対策。⑤地域おこし協力隊の募集・活用の提案。

いま持っている力を地域に活かす「さくらの会」

議員がおじゃましました!

地域コミュニティが希薄になっている状況の中、栗田地区で元気に活動されているボランティア団体「さくらの会」の会員4人からお話を伺いました。



花の植え付け作業

一つには、栗田駅で花の植え付けと管理並びに年一回の駅舎清掃で「花いっぱい運動」として、栗田小学校1・2年生の児童と一緒に春はペゴニア、秋はビオラ等を花壇とプランターに植え付け、水やりや手入れは当番を決めて行っています。

どんな活動をされていますか?

「学んだことを地域に返している」と民生児童委員のOGに呼びかけ、平成26年4月に15人（現在は20人）で発足し、地域に少しでも役立ちたいと思い活動しています。

「サクラの会」発足の動機は?

栗田駅舎の清掃は、栗田中学校の呼びかけで、生徒達や自治連のみなさんと一緒に12月頃に実施しています。
二つには、宮津市社協の委託を受けて一人暮らし高齢者（75歳以上）の誕生日訪問を行い、市社協からのお祝品を手渡しして、大変喜んでいただいています。同時に体調や生活の状況を聞き取り社協に報告しています。
三つには、小・中学校の運動場の草取り等の活動を楽しみながら行っています。その他ボランティア協議会からの呼びかけに積極的に応えています。



運動場の草取り作業

これから行いたい活動は?

栗田地区は、診療所もスーパーも無くなりました。信用金庫や農協も撤退し、人が交わる場所が無くなっています。
「買い物しながら人と人が交流できる場所づくりや、夏休み等に子供たちと関わりをもった催し物がしたいな」との思いを語り合っています。



京都府社協からボランティア団体表彰を受賞

取材して感じたこと

元民生児童委員の経験を活かしながら、地域の環境整備並びに高齢者福祉や児童福祉に関わり、楽しく活動されていることが伺えました。人が交わる「居場所づくり」に向けて、活動の場がさらに広がることを期待しています。（記 河原末彦）

「どこでも市長室」を問う

市長 私自らが出向き、市民の皆様の多様な声をお聴きする



蒼風会 横川 秀哉

問第7次総合計画は令和3年度から令和12年度までの長期計画であり、さまざまな問題や課題が山積する宮津市にとってターニングポイントの10年間であると思う。この総合計画で柱に据えられた「共創」の理念を実現するために取り組まれている「どこでも市長室」の現状を問う。
市長 この取り組みは私が「夢と希望があふれる住み続けられるまちづくり」を市民の皆様と共に進めたいという思いから令和元年度から始めた。コロナ禍により令和2年度は開催できなかったが、令和元年度5団体72名、令和3年度4団体50名、今年度もこれま

で11団体11名の皆様と対話・意見交換を行っている。
問この取り組みでどのような成果が得られたのか。
市長 直接お出会いをして対話することで、課題の共有ができ、市民の皆様が宮津市のまちづくりに積極的に関わっていただいていることを再認識した。こうしてコミュニケーションを重ねていくことが「共創」に向けた相互理解につながる。私、私の市政運営において多様な視点を持つて総合的な判断をするのに欠かせないことだと理解をさせていただいた。
問この「どこでも市長室」をはじめ広聴活動をもっと積極的

に取り組む姿勢を見せなければ市民は失望してしまう。
市長 「共につくるみんなが活躍する豊かなまちみやづ」を実現するためには、さまざまな課題の把握や解決に向けて市民の皆様と一緒に考えていくことが肝要である。地域のあり方や方向等を構築していく「エリア連携」に向けた動きにも、地域懇談会の要素も入れながらしっかりと話し合いを重ねていく。今後も引き続き私が積極的に地域や現場に出向き、市民の皆様が多様な声をお聴きし、対話を深めながら市政運営に努めていく。

問各地から対策の声をもらっている。地区別の被害状況は。
産業部長 由良145a、352万円、栗田200a、252万円、宮津87a、120万円、上宮津100a、104万円、吉津220a、218万円、府中46a、45万円、日置17a、16万円、世屋25a、16万円、養老57a、58万円、日ヶ谷47a、43万円。金額全体1228万円。令和2年対比で市全体の被害面積が2.15倍、金額が2.5倍と大幅に増加している。
問農業どころである日置は被害が小さい。地形もあるが分析が必要だ。宮津市鳥獣被害防止計画では、被害の軽減目標とし

て、令和元年の現状値が3.79ヘクタール、442万円に對し、令和4年の目標値が420万円であるが、なぜこの目標値としているのか。
産業部長 被害状況の推移や防護柵の設置状況などを考慮し、元年度の被害額5%減の420万6千円を目標値とした。
問目標の設定がおかしい。実際被害額ゼロというのは難しいが、ゼロを目標とすることで行動が変わるはずである。気概を持って市として対策を打ってほしい。次期計画では、例えばドローンによる自動追払いシステムの構築やドローン空撮によるイノシシやシカの生息箇所デー

タ・山の環境調査をする。ハンターツアーの強化といった具体の積極的な行動計画を策定し、対策をとるべきではないか。
産業部長 被害の現状を十分に踏まえ各地域の地形等も含めた分析をしっかりとすることで施策の実施内容を定めていきたい。総合的な対策を計画するが、被害が大きいい地域では集落ぐるみで被害防止に先進的に取り組む地区をモデルに、その成果を市全体に展開していきたい。ドローンを含めICT等の先端技術を活用した捕獲機器の導入も検討していきたい。

一問一答

産業部長 ICTなど先端技術を活用した捕獲機器導入を検討



蒼風会 坂根 栄六

獣被害額ゼロを目標に対策強化を

市民と議会の懇談会を開催

多世代のさまざまな立場の市民のみなさんと自由に情報や意見交換の中で、課題や考えを共有し、豊かなまちづくりの実現に向けて懇談会を行っています。

今回は、「地域の魅力、困りごと、地域の存続について語りませんか」をテーマに地区単位で開催したのに加え、子育て世代対象の懇談会も開催し、たくさんのご意見をいただきました。

(抜粋掲載のため、報告内容は宮津市議会ホームページをご覧ください。)



子育て世代との懇談会



キッズスペース



養老地区公民館

子育て世代と意見交換

10月30日の午前10時から、議会初の試みとして、「子育て世代の声をきかせてください」をテーマに意見交換をしました。

○主な意見

子育て支援センター「にっこりあ」

- 就学前までの子（日曜日のみ小学4年生までの利用可）という年齢制限があるため、家族等で利用ができず、残念だ。
- コロナ禍前までは週に2回ほど、弁当持参で子どもと一緒に来て5時間ほど過ごしていた。
- 安全に配慮してくれており、安心して遊ばせることができる。

放課後の過ごし方

- 小学校低学年の児童は、幼稚園よりも早く下校することがあり、短時間でも、小学生の居場所があると助かる。
- いざという時に預けられる居場所があると良い。
- ファミリーサポートで一時預かり登録者を紹介してくれる。顔見知り登録者の場合は預けやすいが、初対面の場合は、預けるケースは少ないと聞く。

高校生の通学

- 遠方通学の場合、早朝家を出発する必要がある。また、部活動後の帰宅も遅くなり、大変だ。
- 通学費用の負担が大きい。



世屋地区 移住定住
平成29年に移住特区の認定後、若手移住者が主力となり、地域の空家・農業体験ツアーなどの取り組みで、

して2週間も通行止めとなった。毎年、年に何回か発生する。対策が難しいことは承知しているが、放置され続けているのか。台風で更なる被害となる。土のうを積み、市から排水ポンプを借り備えた。議員も地球温暖化の問題を充分認識したい。

日置地区 地域医療
令和2年度に設置された「宮津市地域医療のあり方検討委員会」の答申で、「橋北地域の診療所については再編し、拠点となる診療所整備は、検討していく」となっているが、新たな診療所をつくる動きはない。高齢化の中で医療施設が確保できないのは困る。

4〜5件の移住があった。課題はメンバーの固定化と、集落が求めている人をマッチングすることである。

日ヶ谷地区 地域の農地・農業維持
農地・耕作地の維持を目的し、「十五日会」と名付け、耕作者・自治会関係者・地域会議などに声をかけ、市の農業委員会も加わり話し合いを継続している。

養老地区 道路等の課題
長江地域は荒天時に海から砂が国道に上り、スリッパ等が懸念される。その都度土木事務所に連絡して砂を除去してもらうが、対処療法でしかなく、根本解決にはならない。



由良地区公民館

議会報告として、令和3年度決算の審議内容を報告しました。

開催日	会場	担当議員	参加者数
10月26日(水)	栗田地区公民館	久保 浩 堀 未季	29人
10月27日(木)	養老地区公民館	松浦登美 小濃 孝之	9人
10月28日(金)	日ヶ谷地区公民館	坂根 孝六 星野 和彦	8人
10月29日(土)	府中地区公民館	長本 義浩	10人
11月1日(火)	上宮津地区公民館		20人
10月26日(水)	由良地区公民館	宇都宮 綾典 幾世 恭典	13人
10月28日(金)	世屋地区公民館	河原 未彦	10人
10月29日(土)	日置地区公民館	松本 隆 安田 裕哉	18人
10月30日(日)	福祉・教育総合プラザ	横川 秀哉 徳本 良孝	17人
10月31日(月)	吉津地区公民館		14人
計	10会場	合計	148人

●子育て世代対象 (参考：前回参加者数 4会場130人)

日時	場所	担当	参加者数
10月30日(日) 10:00~11:30	福祉・教育総合プラザ	全議員	6人

議会報告

栗田地区

下水道会計の債務10億600万円は、宮津市の分が、それとも広域全体か。

府中地区・吉津地区

下水道会計の赤字の内容は。

議会：宮津市のみ金額である。内容は2年前、企業会計制度に移行し収入が2億5千万円、経費差引き後5億円の赤字。人口減により収入が減り、累積赤字が10億600万円となった。

宮津地区

財政健全化5カ年計画のうち、3年経過したが、残り2年間で達成できるのか。議会：行政運営を点検し、監査・監視していく。

養老地区

令和3年度的一般会計実質収支4億8千万円黒字の主な要因は。議会：歳入では、コロナ禍における5億円近い交付金、歳出では、例年実施の主たるイベント中止等によるもの。

意見交換

由良地区

由良川堤防整備
堤防工事は国、内水対策は宮津市が行う予定。KTR下の細い川に、地域内の水が全部集まる。堤防完成後でも出水した場合、一番低い区域に水が集まり、大災害を心配する。内水対策を願いたい。

栗田地区

河川対策

大雨などで河川に土砂が溜まると海へ流れにくくなり、氾濫し、農地・宅地が浸水する。浚渫の要望は、毎年応じてもらえない。大雨など続くと、浚渫が必要で追いつかなくなる。

宮津地区

空き家問題

放置空き家を宮津市が調査・確認しているが、個人情報などで踏み込めず、問題解決が進まない。自治会も情報提供などの協力も行うので、市も対応し一歩前に進めてほしい。

上宮津地区

地区連絡所兼地区公民館
旧上宮津小学校へ公民館を移設する計画だが、これまでの利用条件を制限する話が出ている。今までも利用できるように地元建設委員会から要望書を提出している。

吉津地区

有害鳥獣対策

非農家も含めた「農業お助け隊」というメンバーを募り、電気柵の設置や草刈、農道整備など耕作者の負担軽減に努めている。メンバー2人が狩猟免許を取得した。

府中地区

高潮対策

8月の晴天に市道が冠水



栗田地区公民館

市民の皆さまには、お忙しい中ご参加いただき、ありがとうございました。いただいたご意見は、執行機関に伝えたり、議会で一般質問や調査を行うなど今後の市政運営に活かせるよう議会として反映していきます。

ひとこと

伝統文化の継承を

宮津おどり振興会

会長 西村 正 大さん
 踊り・地方指導 神田 由里子さん

宮津おどり振興会は、昭和31年11月に発足して66年たちました。その間、いろいろな方面から称賛を受け、日本の各地や、遠くはアメリカや香港へも行って、踊りを披露して参りました。

平成30年には、宮津市の無形民俗文化財に登録されましたが、高齢化が進み、次世代への継承が課題となっています。

京都府や宮津市の支援も受け、学校等への出前講座や、毎月第1水曜日は踊り、第2土曜日は地方の市民講座も実施しております。ユネスコが、日本の盆踊り等の伝統芸能「風流踊」を無



形文化遺産に登録すると決定しました。宮津にも脈々と受け継がれてきた宮津おどりがあります。皆様ぜひ宮津の伝統文化にふれてみませんか。

3月定例会 会議日程

・ 請願書の締切り 2/16(木) 正午

日	月	火	水	木	金	土
2/19	2/20	2/21	2/22	2/23	2/24	2/25
			本会議 (開会・提案説明)			
2/26	2/27	2/28	3/1	2	3	4
				本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問、 質疑～委員会付託)	
5	6	7	8	9	10	11
	常任委員会・ 予算委員会		予算委員会			
12	13	14	15	16	17	18
					予算委員会 (総括質疑・委員間討議)	
19	20	21	22	23	24	25
	本会議(補正予算等) (委員長報告～採決)		予算委員会 (委員間討議)			
26	27	28	29	30	31	
				本会議(当初予算等) (委員長報告～採決)		

※開議時刻10:00 ・この日程は予定であり、予告なく変更する場合があります。



【議会情報化委員会】

委員長 久保 浩
 委員 幾世 恭典
 委員 堀 未季
 副委員長 宇都宮 綾
 委員 河原 末彦
 委員 松浦登美哉

(幾世 恭典)

撮影時のみマスクを外しています。

編集後記

あけましておめでとうございます。

昨年10月末ごろに行われました「市民と議会の懇談会」では、各地域の皆様にご参加いただき、さまざまなお意見をいただきました。ありがとうございます。

今回は開催の広報を多くしたり、子育て世代を対象にした懇談会を実施したりと新しい取り組みも行いました。今後も、市民の皆様の声をもとに本質的な課題を抽出し、政策等に反映できるよう新しい懇談会の形を模索していきたいと思っております。